

	<h1>大泉</h1>	<p>「人は学ぶ」 「人は変わる」 「人は輝く」</p>	<p>11月号 平成30年11月13日 発行者 惣田 修一 編集 菊池 知裕</p>
---	-------------	--------------------------------------	--

## 受験

校長 惣田 修一

杉並区の中学校で3年担任をしていた時のことです。A男は、クラブチーム（シニア）で野球を3年間やっていました。運動能力は抜群だったのですが、わがままな上、自分勝手なスーパーやんちゃ君だったので、他の生徒からも煙たがれていました。そして、1年から3年までずっと私の学級の生徒でした。

いよいよ進路の話になったとき小学校時代からあこがれていた野球の強いB高校のセレクションを受け、スポーツ推薦で進学しようとしていました。ところが、セレクションでは選ばれず、B高校の野球部監督から勉強を頑張って、一般受験をするように言われました。その時、A男は監督に「セカンドポジションは君のために空けておく。是非試験に受かって野球部に入ってきてほしい。」と言われたそうです。

セレクションに選ばれずがっかりしていたA男は、この言葉を励みに夏休み中は猛勉強しました。2学期登校したときには、日焼けで真っ黒だった顔がすっかり白くなっていました。話をきいてみると、朝の9時から夜の7時まで塾の自習室にこもって勉強をしていたそうです。

A男は、2月18日に一般受験をしました。そして、その2日後に発表がありました。結果は残念ながら不合格、彼は学校の職員室に戻ってきて担任の私にその報告をしました。

私：「どうだった？」

A男：「駄目でした」

彼はその言葉を発した瞬間、その場に泣き崩れました。まるで、小さな子どものように涙と鼻水と泣き声が一緒になってあふれ出ました。気が強くやんちゃなA男がそんなにまで泣き崩れるとは、正直予想していませんでした。動揺した私は、気のきいた言葉をかけることさえできなかったのです。

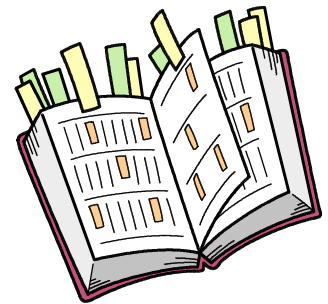
どうやら、可否発表の掲示板に自分の受験番号がないことを知ったA男は、学校に戻る途中、茫然として自分が不合格になったことを実感として受け止められなかったようです。その間、誰とも口をきかなかった。学校に到着し、私の顔を見て自分が駄目だったということを口にした瞬間、初めて不合格という現実を実感したようです。我慢していた悲しい気持ちが、一気にあふれ出たのです。A男がB高校に必死な思いで挑戦していたのだという認識を、あらためて痛感しました。

その後、A男は第2志望のC高校を受験し、見事に合格。進学して3年間立派に野球を続け、大学にも推薦入学しました。

受験の可否が人生を決めるというわけではありません。でも、受験の可否は、不思議と鮮明に自分の心の中に残ります。なぜなら、受験のその瞬間は「たった一人の真剣勝負」だからです。親にも先生にも友達にも誰にも頼ることはできません。誰の責任でもない、自分の責任でその瞬間を切り切って、自分の責任でその結果を受け止めるしかないからです。そして、受験の可否に関わらず、その経験は自分を力強く成長させていく。個人差はあるかもしれないけれど、少なくとも私の場合はそうでした。

3年生に、いよいよその瞬間が近付いてきました。今は目の前のことで精一杯かもしれない。考えづらかもしれないけれど、たとえどんな結果が待ち受けていようと、長い目で見ればきっと自分の成長につながるはず、是非、力を尽くしてほしいと思います。

1、2年生は、3年生の受験の瞬間の「たった一人」という不安な気持ちを少しでも和らげるために、心の中、全力でエールを送りましょう。



てん か む そう

天歌夢奏 ～天ので響け我等の歌～

合唱コンクール

10月18日(木)、練馬文化センターで合唱コンクールが開催されました。実行委員会を中心に長い期間準備をし、どのクラスも金賞を目指して熱心に練習に取り組んできた成果を発表する機会となりました。

午前の部、開会式に続いて1年生の元気な全員合唱で始まり、今年度本格的な合唱に取り組んだ10組の発表、そして2年生の発表と続きました。そして午後の部、3年生の発表。さすが3年生と感じさせるハーモニー、声量、声の厚み、豊かな表現力で聴くものを魅了する発表でした。入賞したクラスも、残念ながら入賞を逃したクラスも、達成感を感じ、得たものも多かったことと思います。当日は、非常に多くの保護者の皆様にご来場いただきました。ありがとうございました。



#### 結果

	金賞	銀賞	銅賞
1年	6組	1組	2組
2年	3組	2組	4組
3年	3組	1組	7組

#### 審査員特別賞

10組



### 10月22日(月) 1年生マナーアップ講習会



10月22日(月)1年生は、リーガロイヤルホテル東京、グループサービスチーム・チーフの及川忠彦様を講師としてお迎えし、マナーアップ講習会を実施しました。11月27日、28日に予定されている職場体験に向けて、実際に職場でお客様を接遇する際のマナーや心構え等について学びました。

挨拶やお辞儀・返事の仕方など、今回の職場体験だけでなく、上級学校への進学や就職の際の面接の場面等でも大いに役立つスキルを教えていただきました。

### 10月20日(土) 第55回 練馬区中学校英語学会

10月20日、練馬区立生涯学習センターで英語学会が開催され、本校からは2年生の渡部真衣さんが参加しました。

"I'll always love you" という題で Recitation(暗唱、朗読)の発表をし、見事、審査員特別賞を受賞しました。





## 練馬区中学校生徒海外派遣報告会

10月26日(金)、小中連携の取組として、大泉小学校・大泉東小学校・大泉第六小学校の6年生を対象に練馬区中学校生徒海外派遣の報告会を実施しました。今年度、海外派遣生として7月にオーストラリアのイブスウィッチ市にてホームステイを経験した3年生の小路さくらさん、菅野佑慈くんが、現地の学校での学習の様子やホストファミリーとの交流について、スライドを使って発表しました。6年生の皆さんからは、数多くの質問も出され、たいへん興味をもって聴いてもらえました。

また、11月5日(月)の朝礼時には、全校生徒の前で同じ発表を行いました。英語による挨拶も堂々としてしっかりでき、こちらも1・2年生にとっては、次年度以降の海外派遣にむけて、とてもよい刺激になりました。



## 大泉東地区祭 10月28日(日)

10月28日(日)、橋戸小学校で育成大泉東地区祭がありました。本校からは生徒会役員を中心にボランティアの生徒がゲームの運営で、コーラス部は音楽会に参加しました。

### 絵画展入賞者

会長賞 高橋 怜奈(2-5)	金賞 大豆生田 梓(1-2)
銀賞 森 真子(2-3)	銀賞 清水 優真(2-6)
銀賞 宮原 唯風(1-4)	銅賞 両角 優那(2-6)
銅賞 岡田 桃佳(1-5)	銅賞 石澤 真緒(1-7)
銅賞 葉梨 結衣(1-7)	(敬称略)



### 8校合同文化発表会に向けて

10組は11月16日(金)の8校合同文化発表会に向けての練習に取り組んでいます。

11月12日(月)の朝、本番前にその練習の成果を全校生徒に発表する機会として校内発表会を行いました。時間の関係もあり、

「ボディパーカッション」と沖縄の伝統芸能「エイサー」のみの発表となりましたが、統率のとれた迫力のある演技に圧倒されました。会の最後には、生徒会の役員から応援メッセージと応援の寄せ書きが贈られました。本番では、これに加えて合唱も披露することになっています。10組の皆さん、頑張ってください。





学力向上を図るため授業改善を進めています。全体計画に基づいて各教科で授業改善推進プランを策定し、今後ともさらなる授業改善を進めていきます。

## 平成30年度 授業改善推進プラン（全体計画）

- 学校教育法 30 条の2等の関係法規
- 東京都教育目標
- 練馬区教育目標

### 大泉中学校 教育目標

健康 ～ 心豊かで健康をめざす人  
誠実 ～ 自分も他人も大切にすること  
努力 ～ 進んで学習に励む人

- 学校、地域の実態
- 地域の期待や願い
- 保護者の期待や願い

### 「各教科」指導の重点

- ①年間指導計画および評価計画に基づき、適正な評価・評定の実施を行うとともに、生徒・保護者との共有を図る。
- ②主体的・対話的で深い学びを通して、思考、判断、表現力を向上させるアクティブ・ラーニング型授業を推進し、実行する。
- ③ICT機器の活用を通して、教材提示、生徒の意見などの共有を工夫し、「わかる授業」を実施する。
- ④年2回の校内研究授業や教科部会等を通して、大泉中スタンダード（仮）を意識した授業づくりを行い、改善を図る。

### 「総合的な学習の時間」指導の重点

- ①キャリア教育の中心として位置づける。
- ②職場訪問・体験、上級学校訪問などを通して進路選択ができる力の育成を行う。
- ③臨海学校やスキー移動教室などの自然体験活動に積極的に取り組ませる。
- ④課題発見や問題解決力、学び方やものの考え方、プレゼンテーション力を身に付けさせる学習活動の充実を図る。

### 「進路指導」指導の重点

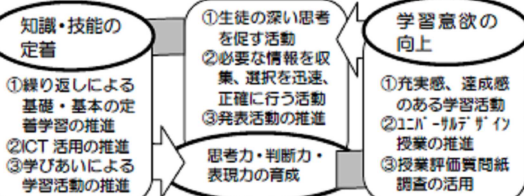
- ①生徒が自己理解を深め、生き方を考え、進路選択ができる力を身に付けるよう、資料の収集・整備を行い、ガイダンス機能を充実させる。
- ②PTAや卒業生、地元企業を中心とした地域の教育力と連携し、望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。
- ③上級学校訪問等を通して、自分自身で進路選択するための情報収集およびその情報を活用する力を養う。

### 大泉中学校 学校経営方針

人は学ぶ ～ 学びの中心は授業である  
人は変わる ～ 達成感のある行事  
人は輝く ～ 委員会・部活動の充実

- ①2分前着席、朝学習等により、基本的な生活習慣・学習習慣の形成を図る。
- ②夏期学習教室、学習コンテストの実施等により、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
- ③「わかる喜び」「できる喜び」を実感できる学習活動の推進。
- ④主体的・対話的で深い学びを導くアクティブ・ラーニングの実施やICT機器の活用を通じた授業改善の実施。
- ⑤チーム・ティーチングによる個に応じた指導の充実。
- ⑥9年間の学びの連続性を生かした小中一貫連携の推進。

### 大泉中学校における「確かな学力」 自立した学習者をめざす資質・能力の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現をとらえて～



### 大泉中スタンダード（仮）

～ICTを活用したユニバーサル・デザイン授業の展開をめざして～

- ①導入「課題設定」～課題やゴールを可視化する～  
・学習内容の意義を教師と生徒が共有し、課題を明確にする
- ②展開「学びの姿」～授業の展開を示す～  
・ひとりひとりの学びの姿をみとめる。  
・他者や先哲との学びあいの姿をみとめる。  
・教材提示と設問の工夫から生徒の考えや意見をみとめる。
- ③終末「振り返り」～振り返り活動の明確化～  
・自分の成長や変容、友達の良さや集団で学ぶ良さに気づく。  
・充実感、達成感などの学びの手応えをつかませる。  
・学びの連続性をもち、PDCAサイクルを学習習慣にさせる。

### 「道徳教育」指導の重点

- ①年間指導計画に基づいた道徳教育の実践を継続する。
- ②「特別の教科 道徳」の完全実施に向け、年間指導計画の見直し、評価計画の策定を行い、効果的な道徳教育のあり方について検証を視野に入れた実践を積み上げる。
- ③東京都教育委員会、練馬区教育委員会と道徳授業地区公開講座を共催し、家庭や地域との連携を図る。

### 「特別活動」指導の重点

- ①望ましい集団生活の形成を図るよう学級活動を計画し、実施する。
- ②集団や社会の一員としての自覚をもたせるため、日々の美化活動や職場体験活動等に取り組ませる。
- ③体育的行事や文化的行事を3年生中心の実行委員会方式で運営し、自治的な活動を促し、よりよい学校生活を築こうとする態度を育むとともに、心豊かな人間関係を築こうとする実践的な態度を育てる。

### 「生活指導」指導の重点

- ①基本的生活習慣の定着、規範意識の向上、自主自律の精神の育成を通して集団生活の向上に努め、安全で落ち着いた学習環境づくりを目指す。
- ②挨拶の励行等、豊かな人間関係の構築に努め、教え合い、学び合う学習環境の活性化、並びに学習に意欲的かつ真摯に取り組む生徒の育成を目指す。
- ③特別な支援を要する生徒に対する、個別の指導計画を基にした一貫した指導や、合理的配慮の実践。  
また、不登校及びその傾向にある生徒に対する個別の学習指導等による登校復帰への支援、並びにキャリア教育の充実を図る。

### 大泉中学校授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法	教育課程の編成	校内研究や研修	評価活動	家庭や地域との連携	小中一貫教育
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力調査の結果や生徒の授業評価を分析し、各教科・学年で指導内容と方法の見直しを図る。</li> <li>○教育 ICT 機器配備モデル校として、ICT を積極的に活用し、生徒が参加したい、学び合いたいという「できる喜び」のある授業を推進、実施する。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの充実を意識し、思考力、判断力、表現力の向上を促す授業展開を工夫する。</li> <li>○習熟度別少人数授業、チーム・ティーチングの実施（数学）等、細やかな指導を図る。</li> <li>○授業改善を推進するためのPDCAの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○週単位で時間割を作成し、授業時数・進度の管理を行う。</li> <li>○朝学習を実施し、定期的に学習コンテストを企画・実施し、基礎的・基本的学力の定着を図る。</li> <li>○放課後や、長期休業期間を活用して学習教室を行い、基礎学力の向上を図る。</li> <li>○図書ボランティアおよび学校図書支援員との連携を図り、図書室を有効に活用して、読書活動を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教職員が年間2回以上、ICT活用による授業改善を目的とした校内研究授業を行う。</li> <li>○校内研修の重点4項目を定め、計画的に実施する。</li> <li>・ICT</li> <li>・特別の教科 道徳</li> <li>・特別支援教育</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育</li> <li>○練馬区主催の研修等で得られた授業改善に関わる情報を共有していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に準拠した評価を、各教科で作成した評価規準・評価計画に基づいて実施する。</li> <li>○保護者会等で、評価規準や評価方法を説明し、評価・評定に関する保護者の理解を深める。</li> <li>○年2回生徒授業評価を行い、授業内容や方法について見直し、改善に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開、道徳授業地区公開講座を実施して開かれた学校づくりを推進していく。</li> <li>○学校便り、ホームページの内容を工夫し、情報共有の機能を充実させる。</li> <li>○地域で活躍する方、活躍してきた方と連携を図り、講演会や特別授業等を企画・実施し、学校全体の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区別協議会において、具体的な授業をもとにした協議会を行い、各校種での授業内容や方法に関する相互理解を深める。</li> <li>○小中連携事業を推進し、課題改善カリキュラムの作成・実践を通じた小学校との学びの交流および連続性を図る。</li> </ul>

### 授業改善策の検証方法

全国・区・都学力調査データ、各種テストの結果、生徒授業評価等をもとに、教科部会、校内研修で改善策を検証する。